

Title	大学受験市場の変化と塾・予備校の対応
Sub Title	
Author	土屋継(Tsuchiya, Kei) 小野桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1995
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1995年度経営学 第1181号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001995-1181

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

土屋 継

主査 小野桂之介

副査 古川 公成

高木 晴夫

所属

小野桂之介 研究室

大学受験市場の変化と塾・予備校の対応

本論文では、東大、京大、早慶大などを志望する生徒を対象にしてきた中堅の学習塾（T社）の事例を中心にしながら、現在大きな環境変化に直面している大学受験市場において、そうした上位層志向の塾・予備校が今後採るべき企業行動を検討した研究である。

問題になる主な環境変化は、18歳人口の減少による市場の縮小、社会の変化による大学教育の見直しとそれを反映した大学入試方法の変化、そして大学受験産業にとって顧客である高校生自身の教育ニーズの変化などである。

本論文では、以下のような手順でこれらの環境変化を分析し、それに対応すべき企業行動の検討を行った。

1. 統計資料によって市場の縮小を裏付けた。
2. 戦後における大学入試の変遷を振り返り、変化の方向性を明らかにした。
3. 大学入学試験の変化を数校の事例について分析し、変化の内容を確認した。
4. 一般的に定義された市場競争要因を大学受験市場固有の要因に変換した。
5. 各競争要因の重要性を生徒に対するアンケート調査で評価し、重要要因に焦点をおいた傾向分析を行い、教育ニーズに関する変化の方向性をより具体的に把握した。
6. T社のような上位層セグメントを対象とする大学受験塾・予備校が、今後の環境変化の中で、自らの存在価値を確かなものとし発展していくために今後採るべきアクションプランを提案した。
7. アクションプランの中ですぐ実施可能なものを実験し、より実現可能性が高いプランになるよう生徒の反応を基に修正を加えた。